

固定チーム ナーシング

固定チームナーシング

責任と継続性のある看護のために

西元勝子 杉野元子 北神洋子

第4版



医学書院

固定チームナーシングとは

看護方式（看護提供方式）の1つであり、患者中心の質の高い継続看護を提供するためのシステム（道具）である。



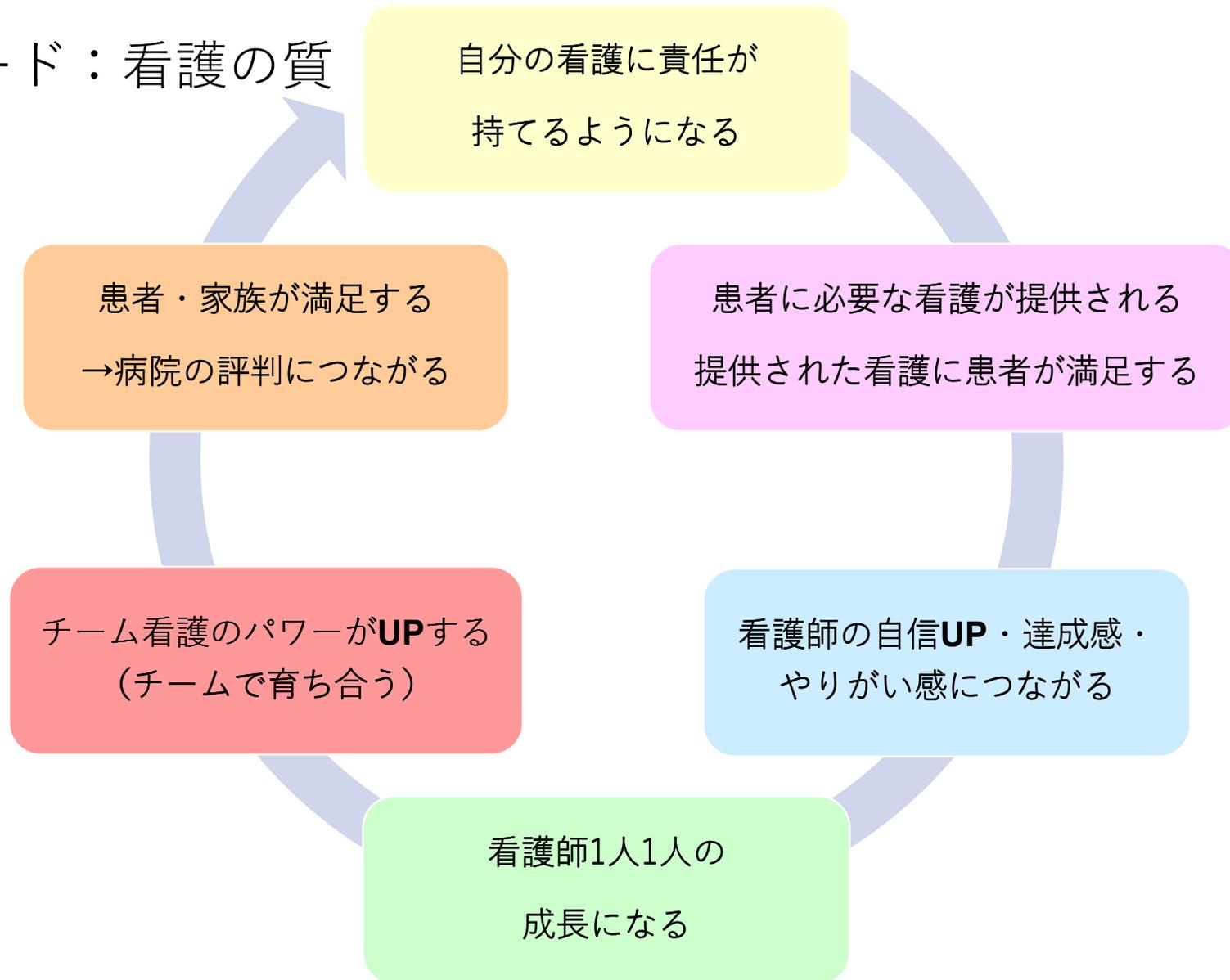
固定チームナーシング導入目的

- 1.患者に責任を持って継続した質の高い看護を実践する
- 2.看護スタッフのやりがい感・自己実現をめざす
- 3.看護スタッフの育成（教育）

固定チームナーシングの5つの定義

1. リーダーとメンバーを一定期間（1年以上）固定し、役割と業務を明確にしてチーム活動をする
2. 各チームは年間目標を持つ
3. 各チームは患者グループを継続して受け持つ
4. 個々の患者には継続する受持ち看護師が存在し、固定チームが支援する
5. 年間のチーム活動と日々のチーム活動があり、応援機能をもつ

キーワード：看護の質



知識・技術向上のためのチーム内での取り組み



Aチーム：急性期・周手術期

チーム会でチームカラーに沿った勉強会を行い、
習得した技術を実践で活かす。



Bチーム：退院支援



Cチーム：がん化学療法・ターミナル期

